

財団 職員同窓会 通信

2015年2月 第27号

改めまして…新年明けましておめでとうございます。
今年**は未年**。群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味するそうです。
世界では紛争やテロが絶えず、愚かな出来事が続いています。少しでも穏やかな羊にあやかった一年になるよう祈りたいものです。

ご感想・ご意見などは下記のメールアドレスにお願いします。
追って、事務局よりメールにて返信させていただきます。
z.dousoukai@gmail.com

新年のご挨拶

職員同窓会会長 酒井 勉

新年明けましておめでとうございます。

皆様には穏やかに、またお健やかに新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。昨年は年初より、大雪、大雨、台風、そして火山噴火と、自然災害にみまわれ、また、国内の事件、外交上のトラブルなど閉塞感を持たざるを得ないニュースが数多くありました。明るい話題として、フィギュアスケートの羽生選手、テニスの錦織選手の快挙、野球の大谷選手の160km超のストレートボール、そして3人のノーベル賞受賞のニュースと、心踊る話題も盛り沢山の一年でもありました。

そのような中、例年より早めの10月25日に開催しました同窓会大懇親会は、前年同様多数のご参加をいただき、盛大に開催することができました。

「共に財団で働いた人と人のつながりを大切に」の会の主旨どおり、皆が集い、皆で語り合えた賑やかで楽しい会がありました。

本年度も計画いたしますので、ご友人とお誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。今年の干支は未（ひつじ）。「未が来る」と書いて未来となります。誰にでも未来の幸せを掴むチャンスがやって来る年と言われます。

皆さまにとって、心身ともに健康で明るく幸せな一年になりますようお祈り申し上げ、また、お元気な姿で大懇親会にてお目にかかれることを楽しみにお待ちしております。



テニス同好会より

～ 12月テニス例会レポート ～

爆弾低気圧到来で一段と冷え込みが厳しかった12月17日に、テニス例会が調布大沢グラウンドで行われました。参加者はリーダーの山内さんはじめ夏原、田仲、小川、田代、鈴木、西岡、そしてAV職の長かった野津山さんの今回初参加で計8名（財団参加は私1人）。

初参加者が加わると今までと違った新鮮な空気が流れ何ともいいものです。とは言え、とにかく寒かった！試合中はまだいいものの休戦中は冷気が身に堪えました。ですが、それにも増して楽しい4時間でした。

その後、山内さん紹介の三鷹で忘年会と相成り今年一年間のご苦労さん会となりました。

話題はどうしてもヤマハ時代の思い出に終始、皆さんそれぞれ在職時の職種は違って、あたかも同じ職場にいたかの様な親睦ぶり。

ヤマハを愛し、ヤマハを誇りに思う“ヤマハ人としての絆”のお陰なのでしょうね。大事にしたいものです。



味の素スタジアムをバックに



忘年会で乾杯！

これからもテニス例会やテニス合宿に多くの方のご参加をお待ちしています。

テニス同好会 お問い合わせ先：西岡 晃
メールアドレス：nishioka@d03.itscom.net



コーラス同好会より

～ 活動レポート ～

昨年10月25日の財団職員同窓会大懇親会は、コーラス同好会にとって特別な日になりました。東日本ヤマハOB会の18番目の同好会として、2013年10月に発足したコーラス同好会は、1周年の節目のこの日、演奏の場をいただき2曲披露しました。

当日、会場でお聴きいただいた方は、それぞれの感想をお持ちだと思いますが、筆者の個人的な感想は「『秋の夜半』を歌いながら初めて合唱団らしいハーモニーを感じ、『時代』では、うたの持つ力で会場がひとつになることを実感した」ということ。

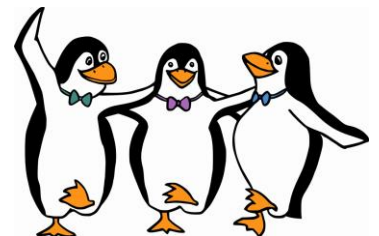
今回取り組んだヤマハを代表する名曲「時代」は、コーラス同好会の大切なレパートリーとして、これからも歌い続けていくことになると思います。

何ごとにおいても、ステップアップするには「100の練習より1回の本番」は筆者の信条ですが、本番の輝きの一瞬は100の練習（100回・100通り・100曲）から生まれるということもまた真実。

2年目に入ったコーラス同好会はメンバーも30名を超え、ますますパワーアップ。

毎月第2・第4木曜日午後の練習会場には、楽しく充実した時間が流れています。あなたもぜひ一緒に！

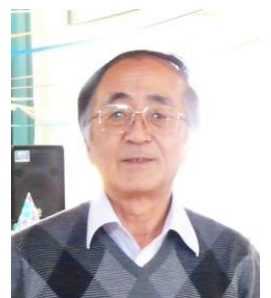
(高瀬俊次記)



会員の皆様の近況

終の棲家は平均年齢90歳／白坂公夫さん

早期退職の制度を利用し、幼児教育の現場から老人福祉の世界に身を移して20年が経ちました。本部の総務にいたとき、身内筋から社会福祉法人の運営を助けてくれと誘われ、実家である宮崎県えびの市に帰り、特別養護老人ホームの経営に携わっています。



ヤマハで経験した証として、当初はお年寄りの余暇活動に器楽合奏（リズム打楽器が主）を取り入れていましたが、高齢化と重症化の波は大きく、最近では叶わなくなりました。

設立40年を迎えた昨年、施設を新築し移転しました。

世の趨勢は老人ホームも個室化ですが、生まれ育った地域の木造住宅の趣も残したく、宮崎の木をふんだんに使った延べ4500㎡の平屋建ての施設は、昨年農林水産大臣賞そして今年グッドデザイン賞を受賞しました。ご利用の皆さんを生活管理することをできるだけ避け、温泉に浸かり窓越しに光と風が織りなす四季の移ろいを感じながらゆったりのおんびりと過ごしてほしいと思います。

多少のフレッシュャーがイキガイです / 鈴木裕二さん



皆様、お元気にお過ごしでしょうか？

私は、渋谷にあります音楽ホールで働き始めて、あっという間に4年が経ちました。音楽ホールがある7階のロビーからは、新宿高層ビル群や、代々木公園が一望できます。夜景が綺麗で、テレビドラマにもよく登場します。昼間の公演の際は朝9時から夕方6時まで、夜公演の際は午後1時から夜10時まで働いております。

私の仕事は、天候やお客様の年齢層、出演者の使用楽器に応じて、温度・湿度などを調整することです。ヤマハを定年後、音楽が近くにある場所で仕事がしたくて、必要とされる資格をとりました。一般的には海外の音楽家は暑がりの方が多く、この寒季節に半袖シャツ1枚で過ごされる方が珍しくありません。日本と海外の音楽家が一緒にステージに立たれる時に、暑い・寒いと同時に言われて戸惑うこともあります。ほとんどのケース、日本の音楽家の方が海外の音楽家の希望に沿った室温で演奏されております。私は、これも日本人の素敵な心遣い お・も・て・な・し だと思っております。あと3~4年、丈夫で働けたらうれしいな ♪

JAZZの魅力にとりつかれて… / 鶴田弘志さん



53才で30年間勤めたヤマハを卒業し、早や18年になりました。ヤマハ現役時代の仕事はポップコンというポップス音楽が中心でしたが、第2の人生で主役になった出来事と云えば、やはりジャズバンドの結成です。卒業後に始めた事業がパソコン教室と音楽教室であったおかげで、施設を利用して音楽ができる環境が整い、忘れかけたジャズ音楽を取り戻そうと待望のバンドが結成できました。メンバーに山口昌則さんも加わって、2006年より活動を始めました。

8年間、毎年銀座タクトで定期ライブを行うことを目標に、毎週水曜日はバンド練習の日とし、昼食と談話の後4時間の練習をすることが最大の楽しみと生きがいになりました。

しかし、今年の7月に突然山口さんが他界され、残念な思いでいっぱいです。

彼の思いも引き継いで、残りのメンバーと共に又、新たにジャズ音楽を続けてまいりたいと思っていますので、引き続き皆様にご支援頂ければ幸いです。

尚、バンドのプロフィールは財団同窓会通信24号で、故山口昌則氏の寄稿による「バンドやってます！」で紹介されております。



右端のギターが故山口さんです



東日本ヤマハOB会からのお知らせ

～ ただいま「ネット展覧会」開催中！ ～



東日本ヤマハOB会のホームページでは、現在、会員の作品を展示中です。出展者は、東日本ヤマハOB会・会員のみならず、財団職員同窓会・会員や、他地区のヤマハOB会・会員、さらに会員の配偶者など46名です。

皆様のご存知の方も多いと思います。

展示作品は、絵画、写真、書、文芸、手芸、工芸、園芸（生花）、動画、お宝自慢と幅広く、皆様のお好きな分野の作品をお楽しみいただけるはずで

「東日本ヤマハOB会」のキーワード検索または、下のリンクから「お知らせ」→「ネット展覧会」をクリックすれば、どなたでもご覧になることができます。

<http://yob-ky.net/index.html>

～ 事務局スタッフ「今年の一行抱負」 ～

何か財団同窓会らしい 同好会作りをして仲間を増やしたいです。

荒井輝四郎

生駒 芳正

2009 年末の脳梗塞から 8 年目、今年は左手、指のリハビリに全力投球します。最近左手で傘がさせる様になりましたので。

石井ふみ子

集まれば、懐かしさと、ヤマハらしい新たな交流の広がりを楽しみに…。

石原 勝年

編集担当として、『同窓会通信』をさらに楽しいものにしたい。

身体だけ丈夫で…が一番迷惑なんだぞ～！と云われ、でも今年もやっぱり健康第一で！

袈川 昌代

烏野 隆弘

「馬には乗ってみよう人には添うてみよう」という事で、職員同窓会参加者を増やしていきたい。

緒方 実

大懇親会が昔の仲間の「今」を再発見する場になるよう、楽しい情報発信をしていきたいと思っています。

朝ドラ「マッサン」で、出身地の広島弁を懐かしく聴いています。元気だった子供の頃を思いだし、今年も頑張ります。

越智 龍尚

大野 陸雄

昨年は病気5連発！今年は…やっぱり健康第一です…ね。

昨年は、怪我多き年だった。今年は怪我なく（頭の毛はほしい）過ごすぞ！

大屋 洵

川口 哲生

欲張りに挑戦します！だって、今がこれからの人生で一番若いんですから…。

岸 昭

仕事をしながらの事務局活動は大変ですが今年も頑張りたいと思います。

柴原 一女

老母の状況に一喜一憂しつつ、我身の健康のありがたみをかみしめております。

早く目覚めた日はウォーキングをする・・・目覚めるかが問題ですけど。

鶴岡 悦子

西岡 晃

初孫が誕生しました。嬉しいです！今年は何事も”笑顔”の毎日を目指します。

やるべきことを先延ばしせず、ゆったりと余裕ある行動と生活が目標です！

渡部美穂子

以上、事務局一同、今年も頑張りますのでよろしくお願ひします！